

各位

2025年3月27日

「愛媛船主」の外航船舶保有隻数は増加するも 国内建造比率は低下傾向

～2024年12月現在の愛媛の船主の外航船保有状況～

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称 IRC、社長 矢野 一成）は、このたび標記の調査結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

なお、詳細は2025年4月1日発行の「IRC Monthly」2025年4月号に掲載する予定です。

記

【調査概要】

- ・ S&P Global のデータを集計・分析したところ、2024年12月時点の国内船主の外航船保有隻数は3,977隻で、都道府県別にみると、東京が1,772隻（シェア44.6%）、愛媛が1,385隻（同34.8%）、広島が310隻（同7.8%）、大阪が131隻（同3.3%）などとなった。
- ・ 2020年と比較すると、国内全体の保有隻数は314隻・8.6%増加した。愛媛は186隻・15.5%増加し、シェアは2.1ポイント上昇した。
- ・ 愛媛の船主の外航船保有隻数が増加した理由として、①堅調な海運市況や歴史的な円安を背景に、資金力を増した船主が投資を拡大したこと、②内航船主や船用機器メーカーなどが友好関係にある外航船主や金融機関・商社などに後押しされて新たに外航海運へ進出したことなどが挙げられる。
- ・ 愛媛の船主が保有する外航船の船種（船の種類）別の保有状況は、ばら積み船（バルクキャリア）が最も多く、734隻だった。次いでコンテナ船が225隻、ケミカルタンカー／プロダクトタンカーが127隻などとなった。
- ・ 愛媛の船主が保有する外航船の建造国は、国内建造が1,020隻（シェア73.6%）、海外建造は365隻（同26.4%）となった。近年は海外割合が高まっており、2024年に竣工した愛媛船主が保有する外航船の国内建造割合は68.2%だった。
- ・ 今後も世界人口の増加・経済発展によって海上荷動き量は増加が見込まれるため、愛媛の船主の外航船保有隻数は、適正範囲内の保有隻数の増加等が見込まれる。

以上